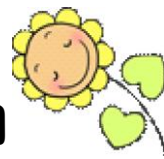




広高教組女性部通信2024 ワークライフバランス

第2号
2025年4月



女性部の皆さん（男性の皆さんも）、日々おつかれさまです。女性部通信「ワークライフバランス」は女性部の活動をできるだけ分かりやすくお知らせしています。

「ワークライフバランス」とは、老若男女誰もが、仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、様々な活動について、自ら希望するバランスで展開できる状態です。一人一人の「はてっ？」を大切にして、働きやすい職場をみんなで作っていきましょう。

（～「ワーク・ライフ・バランス」推進の基本的方向報告」（平成19年7月 男女共同参画会議 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）に関する専門調査会）引用）

2025年国際女性デー広島県集会 開催

（3月8日（土）広島平和記念資料館東棟地下メモリアルホール）

国会で選択的夫婦別姓制度が審議されようとしている中、タイムリーな講演を聞くことができました。日本で戸籍制度が始まったのは、わずか150年前のことであり、それ以前は、女性の社会的地位はそれほど低くなかったことや、戸籍制度によって、徴兵制や徴税が支えられていたこと、それが戦争に直結していったことなどが話されました。また、「「権利」を意識するときは、侵害されようとしているとき」という依田さんの言葉は、まさに今、私たちが敏感になっていなくてはいけないことだと感じました。

男だから、女だからではなく、同じ人間として協力しあっていける社会を作っていきたいです。

私たちの「生きづらさ」と 憲法24条による自由の保障



講師：依田 有樹恵 弁護士

広島市出身、法政大学法学部卒業後、約30年間、民間企業に勤務。社会のジェンダーバイアスを感じ、退職して九州大学大学院を経て、弁護士になる。
弁護士登録後、職域弁護士を経て、2019年、地方法院により公認法律事務所を設立。
広島弁護士会所属。平和憲法問題対策委員会委員、元民間団体プロジェクトチーム
幹事。日弁連憲法問題対策本部委員。日弁連特別選出及び関連する国際制度改革実現本部委員等を務める。



日教組女性部委員会 出席（3月2日（日）日本教育会館（東京））

第172回女性部委員会に出席してきました。女性部総会と隔年で開かれる会議です。

2024年度運動の経過と総括、2025年度当面のとりくみが審議されました。「両性の自立と平等をめざす教育研究会」「全国教研」「性別で分けない名簿等のとりくみ調査」「母と女性教職員の会全国集会」などの報告がありました。また、教育現場のジェンダー平等実現にむけて文科省と意見交換し、性を尊重する教育の推進については、人権としての包括的性教育が有効であること、特に「はどめ規定」があるために十分な性教育ができないこと、文科省「命の安全教育」だけでは、現状にそぐわないなどと伝えたことが報告されました。

討論では、各単組の取り組みや課題が出されました。

・出生サポートについて

不妊治療のための休暇が1年間の休暇があるのは、山形、茨城、長野、新潟、広島などでした。休暇取得中は無給になるので、互助会などから給付金が出な

いか交渉していたり、共済の掛金の免除を求めている県がある中、鹿児島県では、互助組合から補助金 5 万円が出るという報告がありました。「出生サポート」という名前がわかりにくい、出産につながるかどうかはわからないこと、更年期休暇なども含めてほしいことから「健康管理休暇」に名称を変えてほしいと要望している県もあります。

・看護休暇について

子の年齢の撤廃や 22 歳までの延長、孫も対象など拡大している県もあります。子の出産の通院も対象になる県（長野）乳幼児看護休暇で予防接種などが対象になっている県（岩手）があります。

※広島県の場合

「出生支援休暇」

不妊治療を行うための休暇。6月を単位として1年の範囲。無給。

広島県特定不妊治療支援事業として5万円助成（要件あり）

「家族看護等休暇」

子とは、義務教育終了前の子又は満18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある障害のある子。2人以上の場合は、10日を超えない範囲で取ることができる。孫も看護の対象に入る。

（詳しくは、2024 年度・2025 年度版女性教職員の権利ノートをご覧ください）

2025 年度の広島県の交渉に活かしていきましょう。

2025 年度の予定

6月	女性部要望書アンケート
6月	女性部総会
8月 1日	全国母と女性教職員の会（東京）
9月 23日(火・祝)	広島県母と女性教職員の会（三原市）
10月	日教組中国地区協議会母と女性教職員の会（広島）
1月	部落解放広島県女性共闘会議学習会
3月上旬	広島県国際女性デー
未定	各地区女性部学習会

1年間お世話になりました。この「ワークライフバランス」をなかなか発行することができず、皆さんに情報を発信できなくて申し訳ない思いです。2025 年度は、もっとたくさん情報を発信して、関心をもってもらい、「次の学習会には参加してみようかな。」「参加してみたいな」という気持ちになってほしいなと思っています。広高教組HPに情報を載せますので、ぜひのぞいてください。

<https://hirohstu.jp/>

ユーザー登録がまだの方は、この HP からできますので、お早めに。（本畝）